

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長
里 見 治
(コード番号 6460 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 グ ル ー プ 代 表 室 長
菊 地 誠 一 郎
(電話番号 03-6215-9955)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 9 日に公表した業績予想（連結）を以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想について

平成 27 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 160,000	百万円 △8,000	百万円 △8,000	百万円 △7,000	円銭 △28.74
今回発表予想 (B)	157,000	3,000	3,000	△1,500	△6.15
増減額 (B-A)	△3,000	11,000	11,000	5,500	—
増減率 (%)	△1.9	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	162,209	12,398	14,266	11,348	46.76

修正の理由

遊技機事業において、一部のパチスロ遊技機の販売スケジュールを下期へ見直した一方で、パチンコ遊技機の販売が好調に推移した結果、当第 2 四半期累計期間における販売台数は、パチスロ遊技機事業が約 92 千台（前回予想約 114 千台）、パチンコ遊技機が約 92 千台（前回予想 58 千台）となる見込みです。また、アミューズメント機器事業およびコンシューマ事業のパッケージ分野においても、一部タイトルの販売スケジュールを下期へ見直した結果、連結売上高は前回発表予想を下回る見込みです。

一方で、営業利益、経常利益、四半期純利益については前回発表予想を上回る見込みとなりました。主に遊技機事業において、パチンコ遊技機の販売が計画を上回って好調に推移したことと、部材リユース等の原価改善施策を通じて、利益率が向上したことが要因となっております。また、コンシューマ事業においても、アニメーション分野における配給収入が計画を上回って好調に推移しております。さらに、研究開発費等の営業費用が減少しております。なお、四半期純利益については、第 2 四半期において当社子会社のフェニックスリゾート株式会社が運営するフェニックス・シーガイア・リゾートの一部の施設について、将来的に利活用しないことを決議したことに伴う特別損失の発生を見込んでいるものの、前回発表を上回る見込みです。

以上の結果、当第2四半期累計期間における連結売上高は1,570億円（前回発表予想と比較して30億円の減少）、営業利益は30億円（前回発表予想と比較して110億円の収益改善）、経常利益は30億円（前回発表予想と比較して110億円の収益改善）、四半期純損失は15億円（前回発表予想と比較して55億円の収益改善）を見込みます。

なお、平成27年3月期におきましては、主力製品の販売を主に第3四半期以降を中心に計画していることから、現段階では平成27年3月期通期連結業績予想に修正はありません。それら主力製品の販売スケジュールや販売動向を見極めた上で、見通しが明らかになり次第、速やかに公表いたします。

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上